

【記載例1】

令和3年度知財活用弁理士等派遣申込書

令和3年●月●日

一般社団法人青森県発明協会 会長 殿

所在地 ●●市●●●-●●  
 申込者 名称 株式会社●●●●●●●●  
 氏 名 代表取締役

このことについて、次のとおり申込みます。

氏名は代表者名を記入してください。

希望日時	①	令和 年 月 日 ( )	13時00分～16時00分
	②	令和 年 月 日 ( )	18時00分～20時00分
	③	令和 年 月 日 ( )	10時00分～12時00分
	④	年 月 日 ( )	回数は5回まで申し込めます。土日や夜間の開催についてはご相談ください
	⑤	年 月 日 ( )	
会場 (所在地)	●●会館会議室 (●●市●●●-●●)		会場については会場費の負担も含め、申込者が手配して下さるようお願いいたします。
内容	希望する内容を具体的に記入してください。  ・当社の技術を生かした特許取得が出来ないか検討しているので、どのような技術が特許になるのか、出願時の注意点など、特許についての基礎知識から出願までの流れを教えて欲しい(3回程度)。 ・担当者だけではなく、社員全員を対象とする。 ・知的財産に不慣れな社員が多いので、事例等を交えて、分かりやすく説明していただきたい。		
知財専門家への希望	食品関係に詳しい弁理士を希望します。		希望する分野等ありましたら記入してください。
担当者 連絡先	所属 株式会社●● 氏名 総務担当●●●●●● 電話 ●●●●-●●●-●●●●●● E-mail ●●●●		

申込後、内容を確認し、派遣する弁理士等の日程調整を行い、具体的な開催日を決定します。希望に添えない場合もありますので御了承ください。